

たつのまち
議会
だより



辰野町イメージキャラクター
びっかりちゃん

編集・辰野町議会広報編集委員会
発行・辰野町議会
発行日・令和5年2月1日



辰野町議会



Center of Japan
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中
信州辰野町

令和4年12月定例会開催

- 特集** 中学生議会開催 ②
- 議会報告会開催 ⑧
- 議会アンケート結果② ⑨

- 11月臨時会・12月定例会報告 ④
- 総務産業常任委員会レポート ⑥
- 福祉教育常任委員会レポート ⑦
- 一般質問 ⑩
- 町民の声 ⑬



写真、いいまちたつの知らせ隊 令和3年12月31日撮影

中学生議会開催

11月1日辰野町役場議場において、議会主催の中学生議会が開催されました。

自分たちが住む辰野町の課題や要望を中学生の視点で抽出し、生徒達がテーマごとにひとつのグループを作って話し合いをしながら調査を進めました。その総合学習のまとめとして、グループの代表者が、中学生議会で町に質問をしました。

①質問項目 / ②質問をしての感想 / ③将来の夢



ふうか
板倉 風夏 議員
(辰野中学校)

- ①通学路である昭和橋の安全対策を
- ②昭和橋付近の交通状況は、既に危険を把握し対策をとっていることを知り、安心した。
- ③これから考える。



ゆず
大野田 柚子 議員
(辰野中学校)

- ①遊具を補修・点検し安全で活気のある公園に
- ②町に提案するには様々な方向からしっかり調べ提案しなければならないことを学んだ。
- ③保育士のような人と関わる仕事



ゆうか
桑原 優果 議員
(辰野中学校)

- ①空き家を取り壊して防災公園に
- ②町長が普段から町のことをどのように考えているかを知ることができ貴重な体験をした。
- ③たくさん勉強してから考える。



けいと
寺平 恵斗 議員
(辰野中学校)

- ①下辰野商店街に活気を
- ②緊張したが町側の適切な回答で十分に理解し、納得することができた。
- ③誰かのためになる仕事



みひろ
宇治 美優 議員
(両小野中学校)

- ①カーブミラーの点検・清掃で安全な地域に
- ②以前から気になっていることを堂々と発言でき、大勢の人の応援に感謝している。
- ③人の役に立てる仕事



ななか
林 奈々花 議員
(辰野中学校)

- ①ミヤマシジミの保護について
- ②議員の皆さんは質問をチェックしてくれ、町長は真剣に聞いてくれてとても嬉しかった。
- ③小学校教諭

議会からのアドバイス

辰野町議会は、議会を身近に感じていただくために、中学生議会を開催してきました。今年で3年連続の開催です。

学校と行政の協力の下、真剣な質問、発言が行われ、提案の一部は実現しています。



議会としてはグループでのディスカッションや発表の授業で、調査の方向性や方法などのアドバイスをしました。道路整備や河川管理などは国・県・町が分担していて、町だけでは対応できないこともあるなど話をしました。



あずさ
高倉 梓 議員
(辰野中学校)

- ①松尾峡にベンチ設置と観望の最短コースを設置しては
- ②調査を一生懸命したので真剣な答弁が嬉しかったし、リハーサル時のアドバイスで堂々とできた。
- ③子どもホスピスで働きたい。



こうた
荒井 康汰 議員
(辰野中学校)

- ①萌えキャラで地域をPR
- ②中学生の意見を真剣に聞いてくれ、真面目に答弁してくださったので満足だった。
- ③辰野に住んで家の畑もやりたい。



いぶき
林 昂輝 議員
(辰野中学校)

- ①日本のど真ん中の立地を活かし大型商業施設の誘致を
- ②なぜ不可なのかの説明がとても明確な理由だったので、納得できた。
- ③安定した職業



しょう
田中 翔 議員
(両小野中学校)

- ①災害時に使える自動販売機の増設を
- ②自分がふと感じた疑問に対して、丁寧に細やかな答弁をしていただき満足した。
- ③辰野町に貢献できる職業

町が対応してくれました

- ・前回の中学生議会で提案された辰野中学校から宮木駅の間、時計が設置されました



除幕式▶

- ・小野のカーブミラーは12月に予算付けができ、1月から着手されます。



顧問の先生より

辰野中学校キャリア教育担当

小林由佳梨先生

日常生活の中で感じる中学生なりの町への課題や要望などを直接発信させてもらえる貴重な機会を頂いたことにとっても感謝しています。生徒の意見に対して前向きな回答をいただけたことで、自分の意見を発信できたことや町づくりに参加できたことが自信にも繋がったのではないかと思います。これからの時代をつくる子どもたちの活躍が楽しみになりました。



両小野中学校生徒会担当

宮澤林太郎先生

今回の活動を通して、生徒が質問内容を考えていく過程で、地域の課題を学年全体で見つけ出していくことができました。中学生にとっての身近な課題を、生活に一番近い町議会で提案できたことは、地域に生きる自覚や意識をより高めることにつながりました。議員の方々の丁寧な支援と行政の方々の温かい答弁に感謝致します。



11月第7回臨時会・補正予算可決

会期 11/2、全3議案・一般会計補正予算他

(補正予算第7号) コロナワクチン接種費用を5,760万円増額

(補正予算第8号) たつのパークホテル・かやぶきの館指定管理者赤字補填8,000万円、忘新年会補助2,000万円、5才児以下子育て支援1,440万円、コロナ国保事業主見舞金70万円、灯油・ガソリン等購入券950万円、低所得者電力・ガス・食料品等高騰支援(国事業)8,200万円など計2億2,669万円増額補正

補正予算第8号討論要旨 賛成11 反対1で可決

反対討論	(吉沢光雄) 両施設だけ毎年多額の予算を使って、赤字全額補てんする事に疑問が多い。他の業者や町民と比べて不公平。経営責任が曖昧になり、財政負担に歯止めが無くなる。他の補正には賛成だが、8,000万円はコロナに苦しむ町民や事業者のため広く使ってほしい。
賛成討論	(小澤睦美) この補正予算中の2施設の指定管理料は、協定時に想定されていなかったコロナ禍により施設の維持管理が困難になったための補正である。管理料削除は、国の要請の無視と、両施設に雇用されている72名の従業員を失業させることに繋がる。故に補正に賛成。

(反対) 吉沢

(賛成) 松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、舟橋、小澤、小林、古村、向山

12月第8回定例会・全議案可決

会期 11/29～12/15、補正予算、条例改正、川島小廃校等19議案 他

町立川島小学校の廃校を議決



川島小マラソン大会の様子

廃校議案討論要旨 (令和7年3月31日をもって廃校する条例を可決)

廃校条例に反対	(吉沢光雄) かけがえのない教育の場を無くして良いのか。保護者や児童、地元住民の多くが存続を望み、廃校の是非について町民に問わない中で廃校するのは民意軽視だ。川島小の魅力もあり、川島区では子どもや子育て世帯が増えている。廃校して地域振興やまちづくりに希望が持てるのか。
	(樋口博美) 川島小学校は、他校で学校に行きづらくなった子どもも毎日楽しく通っている。少ない人数の中で居場所を見つけた子どもにとって、大切な学校。統廃合によって、子どもたちに何か影響が出るようであれば、それは町、教育委員会、そして議決する議会の責任。
	(池田睦雄) 川島小存続希望の保護者は学校規模の下限値を持っている。町が目指す教育ビジョンのあり方検討委員会をいつ立上げ、あるべき姿をいつまでに示すのか不明確。直近の出生者は75人、小学校は何校必要か。小中学校のあるべき姿が整理されるまでは、川島小廃校に反対する。
廃校条例に賛成	(小林テル子) 3年間のチャレンジ期間を含め7年間存続を目指したことは尊重する。しかし、公立学校でありながら、地域の子どもの半数以上から選ばれていないのが現状。集団での学びの意義は大きく、統合までに通常の学びに疲れた子どもの居場所を作る計画もある。
	(向山光) 川島小の極小規模校としての成果には、関係者の努力に敬意。しかし、地元の子どもの多くが西小を選び、川島小へ通う子どもの多くが地区外から通うという状況は、公立学校のあり方として疑問。多人数の中で学びにくい子ども等への新たな学びの場の検討を強く求めたい。
	(小澤睦美) 平成24年、児童確保のため町は特認校制度を導入、そして川島区と連携し生徒数増加の各種取組みを行った。しかし、令和3年度の児童数は、特認校導入の時の29名を大幅に下回る全校9名となった。そのため、児童に多くの仲間と学ぶ機会をとという決断をした。故に賛成。

議長を含む特別多数議決(2/3以上)による採決

(廃校に反対) 吉沢、樋口、池田

(廃校に賛成) 松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、舟橋、小澤、小林、古村、向山、岩田

物価高騰対策補正予算などを可決

一般会計補正第9号（総額3,195万円）の概要

- ・最低賃金引き上げや人事院勧告等による人件費補正
- ・下辰野商店街イベント 250万円
- ・光熱水費増額 2,688万円 等

一般会計補正第10号（総額4,002万円）の概要

項目	予算額	内容
生活困窮世帯緊急支援金	370万円	住民税非課税世帯と家計急変世帯に2万円支給
私立学校価格高騰対策補助金	540万円	町内私立学校に10～12月光熱水費の値上分を補助
高校生世帯物価高騰対策給付金	1,060万円	町外在住を含む高校生に、1人2万円補助
公立病院価格高騰対策補助金	218万円	辰野病院に光熱水費高騰分の一部を補助
肥料価格高騰緊急支援事業補助金	600万円	町内出荷・販売農家に3千円+肥料購入費の20%補助
集会施設感染予防対策補助金	500万円	感染予防設備、機器等購入に1カ所50万円まで補助

公共施設管理者の指定

施設名	管理者	期間	指定管理料(提案額)
たつのパークホテル	(株)フード アーキテクトラボ	5年間	5年間 総額4,500万円
辰野町地域活性化センター (信州フューチャーセンター)	(有)共和堂	3年間	年550万円
辰野町世代間交流施設	世界昆虫館	2年間	年100万円



世代間交流施設

その他の主な議案

議案名(要約)	主な内容
個人情報保護に関する法律施行条例	関係法令改正に対応するため関係条例の廃止、制定、改正
職員定年条例の一部改正	法改正により、職員の定年を段階的に65才まで引き上げる
各事業・特別会計の補正予算	上水道、下水道、国民健康保険、後期高齢者医療、辰野病院、介護保険の各事業・特別会計の予算補正 計6件

医療・介護の人員増と処遇改善を求める意見書決議

「安心・安全の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情（提出者 長野県医労連 執行委員長）」を賛成多数で一部採択し、町議会として総理大臣等に、次の意見書を提出しました。

意見書(要旨)

- 1, 職員配置基準の抜本的な見直しと増員、ケア労働者の賃上げ支援を
- 2, 夜勤交代制労働に関わる労働環境を、抜本的に改善を

【本意見書採択への各議員の賛否は、以下のとおり(敬称略)】

(賛成) 吉沢、松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、小澤、小林、古村、向山

(反対) 舟橋

総務産業常任委員会

条例審査

12月8日、9日に担当課長出席の下で審査を行いました。

■議案第1号 辰野町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について

◆趣旨 法改正により全国統一ルールとなり、法律で認められた3項目を条例制定し、辰野町個人情報保護条例は廃止する。

問 職員の情報漏洩へのモラルの管理や教育は。

答 定期的な研修・教育の実施や外部支援による内部監査等を実施する。

■議案第2号 辰野町職員の降給に関する条例の制定について

◆趣旨 定年引上げによる職員の給与減額と降格の種類と事由、降号の事由を制定する。

■議案第3号 辰野町行政不服審査会条例の一部を改正する条例について

◆趣旨 辰野町行政不服審査会の役割と審査会手順を規定し直す。

◎法律施行と条例制定により「議会」は令和5年3月定例会に「議会の個人情報保護に関する条例」の制定が必要となる。

■議案第4号 辰野町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について

◆趣旨 職員の定年を60歳から65歳に延長する制度を導入する。

問 定年延長で職員数は増えるが、職員採用への影響は。

答 定年延長は補充ではなくスキルを活かした配置

と考え、計画的に職員採用する。

問 他市町村に比べて職員数の見通しは。

答 現在の職員規模は、近隣自治体と比べ下回っている。長期的視点でなるべく多く充足できるように採用する。

■議案第5号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

◆趣旨 条例、条ズレ、用語を整理する。

■議案第6号 辰野町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

◆趣旨 一般職、管理職及び医療職の給料月額を平均約0.3%引き上げ、勤勉手当の年間月数を0.1月引上げる。

■議案第7号 辰野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例及び辰野町特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

◆趣旨 人事院勧告により、年間支給月数を0.05月引上げる。

■議案第8号 辰野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

◆趣旨 主に会計年度任用職員の医療職の処遇改善に「看護職員処遇改善手当」と「感染症防疫手当」を支給する。

問 処遇改善手当はいくらアップするか。

答 看護職員は概ね月額9,000円。

指定管理者選定の審査

◆議案第17号 辰野町公の施設の指定管理者の指定について

◆趣旨 指定管理期間が令和5年3月31日に終了する3施設について、指定管理者を指定したい。

名称と指定管理者	審査内容
たつのパークホテル <指定管理者> (株)フードアーキテクトラボ	<p>問 ホテル運営の実績がない指定管理者は不安だが。</p> <p>答 顧問と統括責任者がホテル経験者、財務諸表を評価。</p> <p>問 5年間の指定管理期間で収支が赤字だが。</p> <p>答 ホテル単体事業とせず、会社全体で収支を合わせる。</p>
辰野町地域活性化センター <指定管理者> (有)共和堂	<p>問 ママカフェ事業のコンセプトは何か。</p> <p>答 母親が気軽に悩み等を相談し、課題解決につなげる。</p> <p>問 地域密着とは何か。</p> <p>答 住民が気軽に立寄れる場所、工夫・改善に努力する。</p>
辰野町世代間交流施設 <指定管理者> 世界昆虫館	<p>問 町内外の入館者の内訳は。</p> <p>答 小中学生、大人で区分けし、町内外の区分けはない。</p> <p>問 H21年から7期連続、本来の目的は達成したのでは。</p> <p>答 子どもの昆虫への興味は根強く、世界中の昆虫標本は貴重なため、利用者を増やす工夫をし継続する。</p>



委員会審査

●付託議案は全て委員一致で可決すべきものと決しました。

福祉教育常任委員会

条例審査

12月8日、教育長、担当課職員出席の下で審査を行いました。

■議案第9号 辰野町立川島小学校設置条例を廃止する条例について

◆趣旨 11月14日に開催した総合教育会議において示された「川島小学校統廃合実施方針」に合意し、令和6年度をもって川島小学校と辰野西小学校を統合して川島小学校を廃止するため、本条例を廃止する。

問 子どもや保護者からは存続を求める声、川島全戸の7割以上からは存続を望む署名が町に提出されている。川島小学校存続委員会からも要望書が出されているが状況は変わったのか。

答 平成27年8月頃から、残した方がいい、子どもがここまで減っていれば統合したほうがいい、最終的に町でなんとかして欲しい等、この問題はずっと川島地区の住民を悩ませてきた。存続委員会については、町長がやむを得ずと表明したときに、解散する方針を出している。

問 議案提出にあたり、区の考えを聴くなどのプロセスを取ったのか。

答 8月に統廃合に関して、過去の7年前までの区長と町との懇談会を行った。

問 「子どもの学びにとってふさわしくない」という一方的な評価は、乱暴ではないか。

答 川島小学校の保護者は、残してほしいという気持ち強いことは承知しているが、中学校や世の中に出たの最終的な自立を見据える必要がある。学年1人2人で学んでいくという姿はどうなのか。

問 児童1人あたりの町費に違いがあること、町の持ち出し分が年間直近2,000万円などの財政問題を統廃合問題に持ち込んでいるのか。

答 財政問題を前面に出して議論することは、子どもの学びにとってよくない。教育委員会としては財政には触れていない。

問 条例施行日までの3年間の捉え方は。

答 これまで2年から3年としてきたが、子どもたちの学びも考え、早く多くの人数の中で学ばせてあげたい思いで、令和7年の3月とした。

◇意見

○一般的には、学校が地域振興の中核になると言われてはいるが、そうでない現象が川島で起きている。川島小学校のあり方を巡って議論をしてきてい

るなかで、議論はもうやめて結論を出して欲しいという声強い。川島小学校の果たしてきた役割を評価しても、存続をしていく結論にはなりにくい。

○在校児童の保護者、今後入学を希望する児童の保護者の声はあるけれども、その人たちの声だけで、公立学校を設置し、運営していくことが妥当なのか。しかも、実態とすれば、地区の子どもたちはほとんど通わない学校というのが、公立学校としてあるべき姿なのか。

○小規模学校を選びたい、選ばざるを得ない子どもたちに対して、町として保証することは、今後の実施方針として出されている。そこを強化することが責任である。

○町全体の学校作りと配置計画の議論を進めて、その中で、川島小学校の方向性を出していくように転換するべき。

●採決の結果、賛成5名 反対1名で可決すべきものと決しました。



委員会審査

陳情審査

◆安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情について

◆趣旨 新型コロナウイルスの感染拡大により、「医療崩壊」や「介護崩壊」が現実となり、感染症対策の遅れや他の先進国と比較して圧倒的に少ない医師や看護師、介護職員や保健師の不足が根本的な原因である。平常時から必要な人員体制の確保を国の責任で行い、公的病院や保健所の機能強化を強く求めるもの。

◇意見

・陳情項目によっては賛成できるが、患者の負担軽減に関する項目は少し違う。
・陳情項目が広くなりすぎている。処遇改善などに絞って意見書を出すことが重要。

●以上の理由から、一部採択とし、意見書を提出すべきと決しました。



辰野町議会 第15回議会報告会開催

令和4年11月18日、第15回議会報告会が開催され、23人の方にご参加いただきました。辰野町議会では、議会基本条例において議会報告会を定期的に行うこととしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年と3年は開催できず、3年ぶりに開催することができました。

報告会では議会運営委員会、議会広報編集委員会、議会活性化委員会からそれぞれの活動が報告された後、常任委員会報告とご参加いただいた皆様との意見交換を行いました。

総務産業常任委員会から

テーマ「地域防災力の課題と取り組み」

- ・ 防災先進地の視察（下諏訪町赤砂公園）
- ・ 各区へのアンケート実施
 - 課題 避難所の安全確保 区民への情報伝達
 - 避難所の感染症対策
 - 支え合いマップの充実
- ・ 総務課 危機管理係との連携

福祉教育常任委員会から

テーマ「高齢者の外出・移動支援」

- ・ 関係課ヒアリング、社協・タクシー会社との懇談
- ・ 高齢者の移動支援から見る町のデマンド型乗合タクシーの状況と課題
- ・ 辰野町社協「ゆいっこ」の運用状況と課題
- ・ 先進地の取り組みの視察・調査（伊那市ほか）

皆さまからのご意見



有賀 元栄 様

災害発生時のリーダー養成が必要。一刻でも早く寄り添えられる辰野町であってほしい。



小山 英夫 様

災害発生時の初動体制が課題。実際に動く時、何をしたら良いのか？



牛丸 喜美子 様

太陽光発電は良い条例ができたが、守らない業者の存在が心配。問題として取りあげて。



滝戸 敏夫 様

災害時、区によって抱えている課題は違う。議員はどのように情報収集している？



中村 利雄 様

災害時の情報伝達手段に問題。どう動いたら良いのか研修等で伝えて。

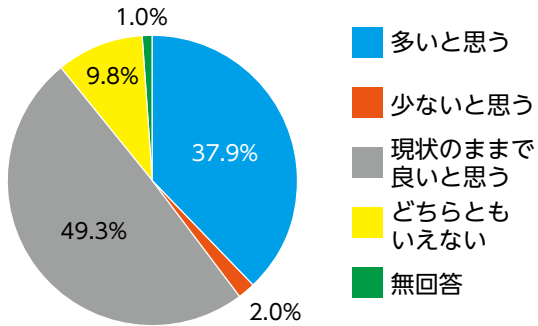
参加者からは、防災に関するご意見が多く寄せられました。こうしたご意見を参考にしながら、安全なまちづくりの提案を行ってまいります。ご参加いただきました皆さま、大変ありがとうございました。

議会に関する住民アンケート結果 その②

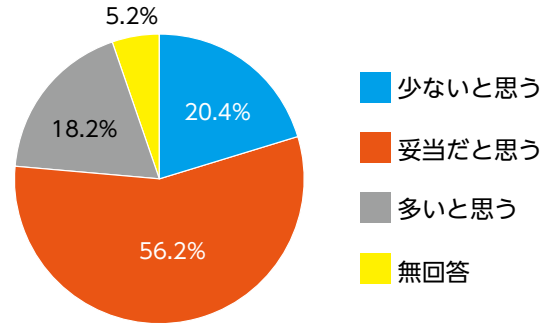
次期選挙に向けて 議員定数は現状維持
報酬は審議会で検討を

令和4年7～8月に実施した
住民アンケート10項目のうち
5項目についての回答結果です。

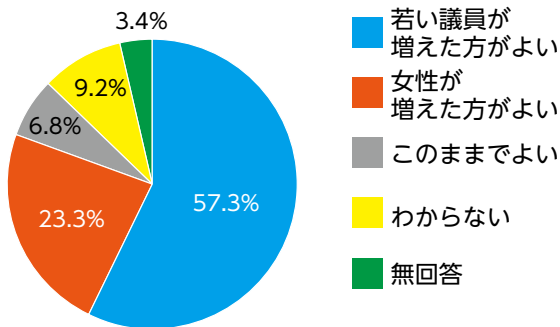
質問4 現行14名の議員定数をどう考えるか



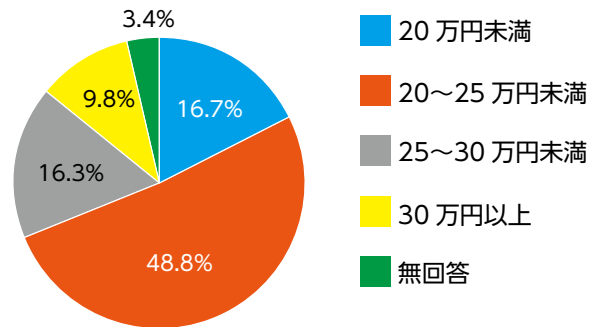
質問5 現行の議員報酬227,000円をどう考えるか



質問9 議員構成のあるべき姿をどのように考えるか



質問6 議員になるとしたら、議員報酬はどのくらい必要か



《議員定数について》

アンケート結果では

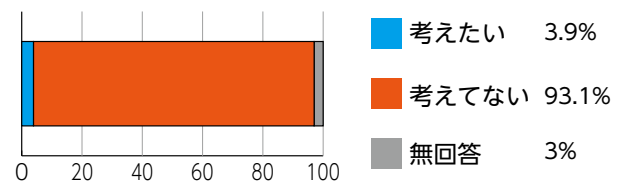
- ・「多いと思う」が1/3を超えています、「現状のままで良いと思う」もほぼ半数あります。
- ・理由として、谷あいの集落が多いなどの辰野町の地形的な特性についても配慮すべきであるとの意見もあります。

議会としての検討内容

- ・「住民の多様な考えを汲み上げて町政へ反映していくためには、議員定数を削減することは好ましくない」、「補欠選挙によって定数の14人となったことによって、委員会をはじめ様々な議会運営が充実してきた」などの意見が出されました。
- ・補欠選挙で5人が立候補するなど、前回の定数割れのような事態が今後も続くのかは、見通しが難しい状況にあります。
- ・「議員をやってみたい」という回答が3.9%ありました。

以上から、次期選挙（令和5年4月実施）においては、現定数で行うことが適当であるとの結論になりました。

質問10 あなたは議員をやってみたいと考えますか。



《議員報酬について》

アンケート結果では

- ・「妥当だと思う」が56%と、最も多く、「多いと思う」「少ないと思う」がそれぞれ2割近くあります。
- ・「議員になるとしたら」には、現報酬額よりも高めの回答傾向になりました。
- ・なり手不足の原因として「議員報酬が低いのも一因」との回答が23.4%、その対策として「議員報酬の思い切った引き上げ」とする回答も17.7%ありました。（前号参照）

議会としての検討内容

- ・平成8年以来改定されておらず、「なり手」不足解消のためにも見直しの時期に来ている、との考えから、特別職等報酬審議会の審議に委ねることになりました。

一般質問には 11 名の議員が登壇いたしました。ぜひ各議員の内容をご覧ください。

ホテルが飛び交う自然豊かなまち		
都市計画税について	吉沢	P10
空き家対策について	舟橋	P11
景観計画におけるまちなか景観の検討を	小林	P12
森林環境譲与税の今年度活用は	小林	P12
小野区太陽光発電施設建設について	樋口	P12
松食い虫被害状況について	樋口	P12
所有者不明土地の解消の取り組みについて	津谷	P13
板沢地区最終処分場建設計画について	向山	P13
太陽光発電施設設置事業に関連する課題	向山	P13
辰野町の行政の骨太の計画について	向山	P13
下辰野商店街玄関口整備について	小澤	P14
図書館前のベンチについて	松澤	P15
第 6 次総合計画 3 つの重点テーマの進捗状況について	山寺	P15
みんなが活躍できるまち		
第 2 期辰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和 5 年度への取り組みについて	池田	P11
食の革命プロジェクトと加工の必要性	小林	P12
パートナーシップ宣言認証制度について	向山	P13
町職員の働きやすい環境づくりについて	古村	P14
いつまでも健やかに暮らし続けられるまち		
物価高騰対策について	吉沢	P10
コロナ感染対策について	吉沢	P10
新型コロナウイルス感染症について	舟橋	P11
第 2 次地域福祉計画における地域包括ケアシステムの進行状況	小林	P12
更なる物価高騰に対する包括的支援について	津谷	P13
伴走型子育て支援の推進について	津谷	P13
医療にプラスされる心のケアを	松澤	P15
次代を担う人材が育つまち		
消防団員に対するバックホー資格取得について	舟橋	P11
不登校児童・生徒の居場所について	樋口	P12
町が目指す教育ビジョンについて	樋口	P12
教育環境について	小澤	P14
小中学校の不登校の児童生徒について	山寺	P15
活力と魅力ある仕事のあるまち		
有機農業推進の町宣言の進捗について	池田	P11
安全で快適に暮らし続けられるまち		
道路・交通安全施設工事地元負担金について	吉沢	P10
老朽化する公共施設対策について	池田	P11
災害支援チーム TTT の構築状況について	津谷	P13
町内の公営住宅管理について	津谷	P13
役場庁舎の老朽化について	古村	P14
町有施設の音響機器について	古村	P14
深層崩壊危険斜面について	小澤	P14
昨年の大雨災害を教訓にして町が行った対策は	松澤	P15
辰野駅周辺の桐の木の伐採の進捗状況は	松澤	P15
国道 153 号サイクリングロードの使用について	山寺	P15

よ
し
ざ
わ
光
雄
議
員



都市計画税・
軽減や廃止の
検討は

町長

貴重な財源で、
議論深める必要がある

問 県下町村で都市計画税を課税しているのは 5 町のみ。上伊那では辰野町だけ。町は用途地域内の所有者にだけ課税している。本来は国保税と同様、納税者のために使うべき目的税だ。税の使途は。

課長 街路や公園の整備・維持管理や、下水道の借金返済など。辰野駅前整備にも使う予定。

要望 わが家の税負担額は年 23,000 円。説明された事業は、町民全体が利益を受ける事業。そのために用途地域内の土地家屋所有者にだけ課税するのは、不公平ではないか。税条例は 58 年前につくられたが、その後市街地が広がり課税範囲にも矛盾がある。ぜひ軽減・廃止の検討を。

物価高騰対策

問 町民や事業者への追加支援策は。

町長 拡充される国の交付金も活かして支援する。

要望 武居町政はこの 5 年間、町の貯金を 3 億 6 千万円増やし、財政を改善してきた。これを活かして全世帯への支援などに取組んで欲しい。

コロナ感染対策

問 検査キット無料配布と検査費用補助の状況と今後の計画は。

課長 無料配布は累計 1,648 件。補助は累計 145 件。1 月末まで延長し、その後は状況見て判断する。



配布中のコロナ検査キット
(インフル併用タイプ)

道路工事の地元負担金は

問 誰でも通れる町道整備の受益者は幅広く、一部の区や組加入者にだけ負担を求めるのは不合理だ。財政力が弱い区や組は工事が出来ない事もある。地元負担をゼロまたは負担率を低くしている市町村もある。負担を軽減・廃止する考えは。

課長 限られた予算で負担金を無くせば工事箇所が減る。課としては見直す考えはない。

要望 道路工事負担金収入は年 800 万円程度。100 億円の予算の中で工面できると思うので検討を。

令和5年度 予算編成の 基本的な考えは



池田 睦雄
議員

町長

長年の課題解決に チャレンジする年

町長 子育て世代が安心して働き続けられるため、病児病後児保育や児童発達支援センターの設置、住宅用地の確保などで町の発展につなげたい。また、3つの改革 DX デジタル技術の活用、GX 脱炭素社会の実現、BX 資源を活かした課題解決に取組む。

問 人口ビジョンは前年度比1%以内の人口減少とし、2040年14,644人を良しとするか。

町長 良しとはしない。生産年齢人口の若者世代を獲得し、年少人口の維持に集中する。

人口減少の歯止め策は

問 若者が移住定住するための抜本策は。

課長 女性が働きやすい、子どもを産み育てやすい条件整備が重要と考える。町ホームページの事業者紹介に女性の雇用環境確保など、情報を積極的に掲載していく。

ウォーターパーク跡地利用は

課長 来年度予算編成の重点テーマとし、町内の関係部署、町民の意見や専門家の検討から整備方針を決めていく。

要望 宿泊施設を持つ総合スポーツ公園のため、施設利用料収入と維持管理費がイーブンになるよう持続可能な活用を検討してほしい。

有機農業推進の町宣言の進捗と課題は

課長 農業振興センターを事業主体に実施計画を策定し、8月に交付内示を受けた。農業者他関係者による専門部会を立ち上げ幹事会、推進会議を重ねた。令和5年3月に有機農業実施計画を町長に答申し、4月に町宣言を予定する。課題は有機農業の定義、病害虫予防対策技術、採算性である。

ほたるドームで再発した雨漏り対策は

課長 令和2年の天窗修繕工事で雨漏りは収まったが、業者に雨漏りの再点検を依頼している。雨漏り箇所が特定できないときは、屋内に水が落ちない対策をとる。



ほたるドーム雨漏り

消防団員への バックホー技能向上 講習会開催は



舟橋 秀仁
議員

町長

消防団内で 費用負担等検討する

問 消防団員がバックホーの運転資格取得する際、町から補助はできないか。

課長 重機の運転は消防や災害時に限定されないため、公費負担に賛否がある。現時点では他の自治体でも事例がなく、制度化の予定はない。

要望 この資格取得は不測の事態が発生した場合の保険。消防団員の人出不足等の状況も踏まえ、消防委員会等で協議を。



北大出区主催の
バックホー運転資格受講会

空き家対策の進捗は

問 町内の空き家の件数と割合は。

町長 平成30年の総務省の統計では、全住宅数8,810戸に対して空き家は1,500戸(17%)。内、別荘や賃貸住宅等を除いた一般住宅は1,290戸(空き家の86%)。

問 空き家バンクの登録件数と成約率は。

課長 平成26年度から通算で登録件数は228件、成約件数は175件で成約率は76.7%。(全国平均は50%)

問 空き家バンクの課題は。

課長 空き家の正確な実態把握と所有者へのアプローチ方法。外観上空き家の80%が利活用可能な状態にあり、危険な状態になる前に手を打つ必要がある。

要望 各区との密接な連携は不可欠。一方で区に過度な負担をかけず、可能な限り町が直接所有者にアプローチすること。

問 空き家バンク以外の取り組みは。

課長 仲介手数料の補助等空き家バンク施策もアップデートしている。その他にさかさま不動産辰野営業所の開設がある。空き家を求め自己実現したい人の情報をWeb公開し、空き家所有者が選べる仕組み。

要望 辰野町空家等対策計画を令和4年3月に更新したが、有効活用するためにも、目標数字を記載し、遂行していくこと。

その他

・新型コロナウイルス感染症は

小林
テル子
議員



地域包括 ケアシステムの 周知を

町長

来年度、制度をまとめ
冊子化して配布

問 地域包括ケア推進会議の今年度開催状況は。

課長 2020年12月から医療、福祉関係者、30団体ではじまったが、今年度はコロナの影響で開催自体は見送っている。

問 医療介護の多職種連携を進めて、2022年度中に町民に見える化し、提示してほしいが。

課長 県が多職種連携シートを使い情報連携の確認、安心バトンの仕組みを使い情報収集を進める。来年度、案内冊子を全戸配布する。

問 町民が自ら生き方エンディングについて、考えるACP（人生会議）のワークショップの開催を。

課長 専門職が学び検討していく。

景観計画における街中景観の検討

問 2020年に景観計画が策定されているが、下辰野商店街の景観は。

課長 明治39年、鉄道開通頃からの街並みも残り、景観的にも価値ある商店街である。

問 トビチを訪れる人が増え、歩道の凹凸が気になるが、修復できないか。

課長 歩道の修復は県へ要望はしているが、難しい。

要望 歩道の整備と商店街の電柱の地中化を。



下辰野商店街

森林環境譲与税の今年度活用状況は

課長 民有林の森林整備は上辰野、下辰野、唐木沢の所有者92名に自ら管理するか町へ委託するか、意向調査を進めている。木育推進事業は今年度、子どもが生まれたご家族へ木製フォトフレームをプレゼントしている。

フードアーキテクトラボ社の加工施設の進捗と町の加工所の必要性

問 川島で加工施設の新設をすとの計画は。

課長 よりあい工房調理室を使う。惣菜・菓子製造の保健所許可は取れた。

問 食の革命プロジェクトも様々な加工品を生み出している。安定的に生産加工を進めるために加工施設が必要ではないか。

課長 町の「おかつて」として加工施設を借りて運用していたが、今年度は返却した。要望があるようなので検討していく。

樋口
博美
議員



町の 不登校児童と 生徒の数は

教育長

文科省の公表以外は
公表できない

小野区太陽光発電施設建設は

問 今後の現状と見通しについて。

町長 災害を招く恐れや景観にも問題がある。事実確認をしながら対応をしていく。

課長 申請も無く始まっている。条例違反も視野に入れて、条例に沿った対応をしていく。電力会社は条例違反でも設備に不備が無ければ買い取る。国の認定が取り消しになれば、法的手段もリスク回避しながら検討していく。

要望 全ての案件を規制し、個人住宅の屋根での発電などを許可制にすること。



小野区太陽光発電施設

松食い虫被害状況は

問 辰野町の防除駆除のガイドラインをつくったかどうか。

課長 県、上伊那の実施基準に沿った中で行う。ガイドラインはゾーニングしながら進めていく。

要望 積極的な防除の体制整備を。

不登校児童・生徒の居場所は

問 子どもへの支援は。

教育長 担任だけでなく学校全体で対応している。

問 不登校特例校とはどういう学校か。

教育長 児童の実態に配慮した教育を行う学校。辰野町では需要は無い。

問 子どもに選ばれる学校とは。

教育長 明日も登校したい学校を目指したい。

町が目指す教育ビジョンは

教育長 教育委員会が目指す中長期目標。

問 教育委員会の見解は。

教育長 教育水準の維持、公の学びのスタイルを検討していく。新たなビジョンが必要と考えている。

問 1学年70人時代の教育ビジョンは。

教育長 いくつかあるが、特に自己肯定感が大切。

問 たつのご学舎（仮称）とは。

教育長 支援教室のひとつ。友達との事情、学習についていけない、学びが抜けている、学校生活に疲れた場合など、専門の職員を配置して対応する。また、LD等通級指導教室設置を県に働きかけている。

要望 町民参加で教育ビジョンを作ること。



災害支援チーム T T Tの構築に 向け町長の決意を



津谷
あきら
町長

町長

率先して防災活動の
普及啓発をする

災害支援チームT T Tの構築状況は

町長 現在、8名と1企業の登録、予想以上に少ない。具体的な活動を開始できる状況には至っていない。誰でも参加できる防災研修会を開催し、設立趣旨や活動内容を理解してもらい登録を促す。

町内の公営住宅の管理状況は

問 被災した場合に甚大になる可能性が高い、昭和に建設された町営住宅が多い。管理状況と整備計画は。

課長 公営住宅長寿命化計画の見直し作業をしている。団地ごと建替え、全面的改善、戸別改善、維持・保全等を整理する。昭和30年代に建てられた団地は、取り壊しという判断とする。

問 移住体験施設の利用・管理状況は。

課長 利用実績は、運営開始から5年で9名。これまで、町への移住に繋がった方はいない。管理は町の直営となっている。定期的に管理し、良好な環境維持に努める。



移住体験施設荒神山の家

伴走型子育て支援の推進は

問 2歳から4歳児の、ベランダや窓からの転落事故が多い。転落防止周知と啓発は。

課長 子どもの転落事故は身近な問題である。ホームページでの注意喚起をする。また、各種検診の際に、パンフレットの配布も検討する。

問 切れ目のない伴走型の支援は。

課長 子育て世代包括支援センターガイドラインに基づき、妊娠期から子育て期に亘るまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、切れ目のない支援を行っている。

問 0歳から2歳児への恒久的な経済支援の導入は。

課長 伴走型相談支援と経済的支援をセットで行うことにより、必要な支援メニューが確実に妊娠期や出産後の子育て家庭に届く。経済的な支援については、関係部署とも検討をする。

その他

- ・物価高騰に対する包括的支援は
- ・所有者不明土地の解消は

太陽光発電 30kw未滿への 規制を



山崎
みつる
町長

町長

事業者は採算が取れ
ない。当面現行で

事業用30kw未滿の発電への規制に条例改正を

課長 30kw未滿の場合、採算が取れないものが多い。環境審議会では当面、現出力での規制とすると結論。引き続き採算性、安全性について確認し、他市町村の規制を研究していく。

問 農地を利用した太陽光発電について、土地の貸借・売買でのトラブル未然防止を。

課長 遊休農地について、太陽光発電などへの転用は相談いただくよう啓発していく。

板沢最終処分場問題、解決への打つ手は

町長 問題は7年目になったが、双方の主張は平行線のまま。白紙撤回の決断をするのは組合側。町は焦らず、じっくり構え、建設反対の姿勢を鮮明に、建設計画の完全撤回の回答を待つのみ。

パートナーシップ宣言制度、ロードマップを

問 性の多様性への理解を深める講演会が開催された。どう評価し、制度化を進めるのか。

課長 一部住民から導入反対の電話があった。制度導入の障害となる偏見をなくし、多様性を受け入れる地域社会構築に向け、啓発に取り組む。

骨太の計画 給食の食物アレルギー対策は

課長 現行の基準、保健所の指摘事項を全て満たすことは難しいが、動線の色分け等工夫して対応している。無理な、過度に複雑な対応は行わないようにとの指導も受けている。食の安全確保は重要で喫緊の課題と捉えている。



中学校給食（左）とアレルギー除去食（右）

骨太の計画 転出入の実態からみた人口増対策は

課長 若い年代の女性が、家族形成期にも仕事を継続し、キャリアアップできるような対応が重要。関係団体と連携し、企業支援を検討したい。

要望 町の立地を活かして、若い女性が定着できる職場の確保について、関係機関と研究を。

古村 幹夫
議員



役場の雰囲気
暗いとの声があるが

町長
風通しの良い職場と
なるよう努めている

問 「明るい挨拶プロジェクト」とはどのような取り組みか。

町長 明るい挨拶ができてきている職員・職場を投票し表彰している。元気な挨拶をする職員により、課が明るくなるという良い循環ができています。職員同士が声を掛け合い、支え合う明るい職場づくりをしようと感じています。

問 職員の年休取得状況や時間外勤務、代休取得などの状況は。

課長 年間 20 日間の年休があるが、令和 3 年度の平均取得は 7.6 日、時間外勤務は医療職を除き平均 9 時間となっている。代休については業務量が増加し、翌年度に繰り越しをせざるをえない職員が増えている。

問 職員からの相談に対応できる体制は。

課長 職務の多様化により心身の不調を訴える職員が年々増えている。町としては様々な方法をつくり、相談窓口を広げていきたい。

築 50 年をむかえる役場庁舎の老朽化が著しいが、庁舎が抱える問題は

課長 設計の古さによる使い勝手の悪さが目立ってきた。急な階段など来庁者にご不便をおかけしているほか、ホールなどの照明の暗さにより来庁者のイメージに悪影響を及ぼしているかと感じている。



建設から 50 年を迎える役場庁舎

問 建て替えを含めた検討の時期が来ているのではないかと。

課長 庁舎の適正な規模を算するのが難しい他、財源の問題もある。予防保全型維持管理の実施により施設長寿命化の方針であり、当面は建て替えを考えていない。様々な課題があるので、大規模改修の視点で横断的に検討するプロジェクトチームを立ち上げる必要がある。

ほたるドームなどの音響設備の整備を

課長 本年度、大音量で持ち運びが可能な放送設備を購入したので、ほたるドームへ設置する方向で検討している。

小澤 睦美
議員



川島地区深層崩壊
危険斜面に同等の
観測機器設置を

町長
研究資料収集の機器
のため設置はしない

問 研究機関が観測機器を設置するのは、5 箇所内の 2 箇所。残り 3 箇所に町が設置出来ないか。

課長 今回の設置機器は、データ収集のためのもの、危険を予知し、知らせ、回避出来る性質の機器ではないとのこと。設置は考えていない。

問 設置のため長野県企業局の「水の恵みを未来につなぐ」交付金を申請する考えは。

課長 交付金には該当するが、深層崩壊のメカニズムや予知の研究成果を確認した上で、必要な防災対策をしていきたい。

問 対象地域住民に対する周知は。

町長 今回の指摘箇所は、令和元年に実施した住民参加型の防災マップの作成事業で確認した斜面でマップにも掲載した。新しい発見があった場合は、地元と情報共有し、機会を設けて周知したい。

下辰野商店街玄関口、辰野駅前改良整備の取組みは

問 平成 31 年の、駅前町づくり協議会による「駅前地区まちづくりプラン提案書」の進捗状況は。

課長 まちづくりを進めていこうと、地元住民による協議会が策定したプラン。これを基に町は基本計画を策定し、数度の地元説明会を開催してきた。その中で、様々な課題が見つかったため、その課題を一つずつ解決している状況。



辰野駅前地区

「辰野町が目指す教育ビジョン」からの教育環境

問 少子化が予想以上に進んでいる現状を鑑みたとき、新たな「辰野町立小・中学校あり方検討委員会」を立ち上げるべきではないかと。

教育長 来年度令和 5 年度中には、立ち上げたい。

問 辰野町の希有な教育環境を活かした幼保から短大までの連携推進を図るとして、設置された「たつの E サミット 2018」の推進状況は。

教育長 19 年度以降、新型コロナの影響で開催できていない。ここで終わるのではなく、保育園、小中高校、短期大学がそろっている教育環境により、過去に様々な成果も出ているので、この環境を最大限活かすために今後も続けていきたい。

医療の 相談窓口を

町長

常時、保健福祉課の
中にある



問 コロナ陽性者に「急変したら救急車を自分で呼んでください」との対応は、不安をあおるばかりで不親切。町の保健師による医療相談窓口設置ができないか。

課長 コロナ感染拡大に歯止めがかからず、生活様式の変化で感染症への不安が増幅している。保健福祉課としては常に相談窓口を開設している。しかし、保健師の人数も限られており、業務時間内でも健診など他の業務を行っている間には対応ができない。また「急変」を判断するのは非常に難しいため、自己判断はせずにかかりつけ医に相談することを勧める。

要望 自分のために救急車を呼ぶというハードルは高い。そこに心のケアをしてほしい。

問 子宮頸がんワクチンの勧奨に、母親としては悩んでいると聞かす。

課長 子宮頸がんワクチンは積極的勧奨が再開されたとはいえ、リスクがなくなったわけではない。稀に重いアレルギー症状や神経系の症状が起こることもある。どんなワクチンにもリスクは付き物だ。迷うときは町内の医師に相談してほしい。

大雨災害を教訓に行なったことは

町長 庁舎内システムを活用したクロノロジーを共有する新たな仕組みを構築した。携帯電話のアプリを使用した情報収集や、要援護者の避難場所の確保も課題だったため、エルボン辰野と災害時の宿泊施設提供の協定を結んだ。

課長 防災協定の一覧は容易に閲覧できる状況ではなかったが、災害情報提供は町の責務であるので、早急に対応してホームページで見られるようにする。

その他

- ・図書館前のベンチの修繕を
- ・高圧線に掛かった木の伐採を



修繕されたベンチ



伐採後の桐の木

不登校の児童生徒 毎年増加している が、町の現状は

教育長

辰野町は不登校の児童生徒は
増えていない



問 全国的には9年連続で不登校の児童生徒が増加しているが。

教育長 町の小中学校は、コロナ禍でも短期間の休校にとどめた。結果、不登校の児童生徒の増加はなかった。

問 不登校の児童生徒の原因を把握しているか。

教育長 約半数の原因が無気力、不安など。また、コロナ感染症の影響で休校が続き、学校を休むことの抵抗感が以前よりもなくなったのではないかと。

問 不登校の児童生徒に対する学校の対応は。

教育長 担任の先生だけでなく、学校全体の先生方と問題を共有している。

問 不登校の児童生徒を減らすために何が必要か。

教育長 自己肯定感の高い子どもは不登校になりにくい。また、様々な場面に直面しても頑張れるという傾向にある。



国道153号サイクリングロードとしての使用は

問 国道153号神戸下から羽場の信号機までの矢羽印は、ジャパンアルプスサイクリングロードの目印になっているようだが大変危険箇所。コースの変更はできないか。

課長 県の事業なので町では無理。

第6次総合計画3つの重点テーマの進捗状況は

問 地域包括ケアシステムに関連した生活支援「ゆいっこ」の活動状況は。

課長 病院の送迎、買い物の付き添い、ゴミ出しなどの支援を現在サポーター25人、利用者39人で活動を始めている。

問 ど真ん中プロジェクトの活動は。

課長 今年度は会議の開催ができていない。今後、会議の方法、町民が参加したくなるようなテーマの設定を考えていく。

問 官民一体の道路改良は。

課長 今年度作成した計画内容を町民に周知する。

要望 ど真ん中プロジェクトが町の重点プロジェクトとしては進展していない。スピード感のある取組みを。

山浦海里波さん(川島)



沖縄から辰野に移住し、今は二人の子ども(2歳と0歳)の子育てに毎日奮闘しています。

コロナの影響で、子育て支援センターで子どもにご飯をあげられない事がとても不便に思っています。難しいとは思いますが、議会でも子育てしやすい街づくりのために検討して頂ければと思います。

関 彰子さん(平出)



辰野町は保育園・幼稚園から短期大学まで、すべての学校が揃った町でありながら、上伊那で一番高齢化が進んだ町です。町民の皆さんが、心が豊かに活力のある町に住んでよかったと思える町づくりを期待します。

松田 尚士さん(宮木)



新しい年を迎え思うこと、
町政・議会に望むこと



2022年からお米とリンゴで農業を始めて一年。全てが初体験の連続でした。多くの方に助けて頂きました。今年はそうした方々にご恩返しができるよう計画を立案し、リスクを恐れることなく新しいことにチャレンジし、日本にしかできない農業、辰野の農業・日本の食を守るとの意気込みで前進したいと思います。

宮原 穂浪さん(北大出)



退職後、土と共に生きる生活を選択しました。やって来たことは特別な事ではなく、堆肥を積み耕して時期が来れば種を蒔き、家族の食べる物を出来るだけ自給する。ずくを出して物を大切に暮らす…。かつて農家が当たり前やって来た事です。遠い国の戦争が日々の暮らしを脅かしている現状を目の当たりにして「農」の大切さをひしひしと感じます。

志渡 保夫さん(小野)



情報が錯綜する現代、
えんもくとし
「**鳶目兎耳**」の心構えが必要です。鳶の目は遠くの物を目敏く見つけ、兎の耳は些細な音も聞きもらさないと言われております。「子ども叱るな来た道じゃ、年寄り笑うな行く道じゃ」の心ある政治を期待します。

編集後記

令和5年は「癸卯(みづのとう)」の年です。「癸」は正直・勤勉を表し「卯」は飛び跳ねるイメージから「飛躍」「向上」を表すそうです。これまでの努力が実を結ぶ年ともいわれます。長引くコロナが沈静化に向かい地域活動が活発化され、議会活動も町民の皆様との対話を大事に進めていきたいと思っております。議会だよりがその一助になれば幸いです。
議会広報編集委員 小林テル子

次回定例会のご案内 3月定例会予定

- 開 会 2/28(火)
- 一般質問 3/7(火)・8(水)
- 委員会審査 3/9(木)・10(金)・13(月)
- 閉 会 3/16(木)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。